



平成22年5月21日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 富田芳男  
(コード番号 4047 東証第1部)  
問合せ先 人事総務部専任課長 徳升聡司  
(TEL. 03 - 3216 - 4561)

平成22年3月期 決算・中期経営計画説明会資料

当社では、本日5月21日、アナリスト向けに平成22年3月期決算・中期経営計画説明会を開催いたします。

平成22年3月期決算の概要、今後の業績見通し、中期経営計画について説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

# 平成22年3月期決算・中期経営計画説明会

---



関東電化工業株式会社

平成22年5月21日

1

## 説明内容

---

1. H22/3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・中期経営計画

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## 関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

|                  | 資本金         | 出資<br>比率% | H22/3末<br>個別売上高 | 対前期<br>増減 | 主要な事業内容                    |
|------------------|-------------|-----------|-----------------|-----------|----------------------------|
| 関東興産(株)          | 10          | 100.0     | 5,250           | △316      | 化学工業薬品の販売および<br>容器整備、保険代理店 |
| (株)上備製作所         | 120         | 49.4      | 3,220           | △1,974    | 化学工業用設備の製作・加工・<br>修理       |
| 森下弁柄工業(株)        | 27          | 52.9      | 983             | 41        | 鉄酸化物の製造販売                  |
| 関東電化KOREA<br>(株) | 2<br>億ウオン   | 90.0      | 5,381           | △3,425    | フッ素系製品の販売                  |
| 台湾関東電化股份<br>有限公司 | 7<br>百万NTドル | 100.0     | 1,457           | △248      | フッ素系製品の販売                  |

|    |        |        |
|----|--------|--------|
| 合計 | 16,292 | △5,923 |
|----|--------|--------|

関東電化工業株式会社

3

## 事業の種類別セグメント

| 名 称               |        | 内 容   |
|-------------------|--------|---|
| 基礎化学<br>品事業       | 無機製品   | か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等   |
|                   | 有機製品   | トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ピリデン、シクロヘキサン、シクロヘキサノン等  |
| 精密化学<br>品事業       | 鉄系製品   | キャリアー、マグネタイト、顔料等  |
|                   | フッ素系製品 | 六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲストン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、フルオロエチレンカーボネート、排ガス処理装置(エフトール)等 |
| 化学設備関連事業<br>その他事業 |        | 工場プラント建設、工場設備保全工事、保険代理店業務等  |

関東電化工業株式会社

4

## 連結・個別損益の概要

(単位:億円)

| 連結決算  |               |               |     |            | 個別決算  |       |    |            |
|-------|---------------|---------------|-----|------------|-------|-------|----|------------|
|       | H21/3<br>(倍率) | H22/3<br>(倍率) | 増減  | 増減率<br>(%) | H21/3 | H22/3 | 増減 | 増減率<br>(%) |
| 売上高   | 400<br>(1.21) | 380<br>(1.14) | △20 | △5.1       | 330   | 333   | 2  | 0.9        |
| 営業利益  | 19<br>(3.86)  | 17<br>(1.67)  | △2  | △13.2      | 5     | 10    | 5  | 100.5      |
| 経常利益  | 14<br>(7.28)  | 15<br>(1.96)  | 0   | 6.8        | 1     | 7     | 5  | 296.4      |
| 当期純利益 | 1<br>(—)      | 8<br>(1.57)   | 6   | 374.7      | △3    | 5     | 8  | —          |

関東電化工業株式会社

5

## 連結決算のポイント

(単位:億円)

|       | H21/3 | H22/3 | 差額  |
|-------|-------|-------|-----|
| 売上高   | 400   | 380   | △20 |
| 営業利益  | 19    | 17    | △2  |
| 当期純利益 | 1     | 8     | 6   |

### (1) 売上高減少(△20億円)

- ・基礎化学品事業部門は、販売数量の増加により増収(+4億円)
- ・精密化学品事業部門は、価格低下により減収(△16億円)
- ・化学設備関連・その他事業部門は、設備工事の減少により減収(△8億円)

### (2) 営業利益減少(△2億円)

- ・基礎化学品事業部門は、売上高の増加により増益(+8億円)
- ・精密化学品事業部門は、売上高の減少により減益(△8億円)
- ・化学設備関連・その他事業部門は減益(△4億円)

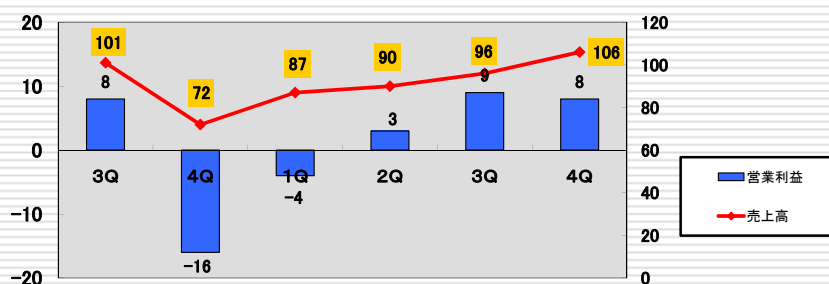
関東電化工業株式会社

6

## 四半期ごとの業績の推移

(単位: 億円)

|      | H21年3月期 |     | H22年3月期 |    |    |     |
|------|---------|-----|---------|----|----|-----|
|      | 3Q      | 4Q  | 1Q      | 2Q | 3Q | 4Q  |
| 売上高  | 101     | 72  | 87      | 90 | 96 | 106 |
| 営業利益 | 8       | △16 | △4      | 3  | 9  | 8   |



関東電化工業株式会社

7

## 基礎化学品事業部門

(単位: 億円)

|      | H21/3 | H22/3 | 差額  |
|------|-------|-------|-----|
| 売上高  | 97    | 101   | 4   |
| 営業利益 | △1.4  | 7.3   | 8.8 |

- ・売上高は、か性ソーダやトリクロールエチレン・パークロールエチレンの販売数量の増加により、前期に比べ増収となった。
- ・営業利益は、売上高の増加に加え、コストダウン効果や棚卸資産評価損の減少等により、前期に比べ増益となった。

関東電化工業株式会社

8

## 精密化学品事業部門

(単位:億円)

|      | H21/3 | H22/3 | 差額  |
|------|-------|-------|-----|
| 売上高  | 270   | 254   | △16 |
| 営業利益 | 17    | 8     | △8  |

- ・三フッ化窒素は、半導体・液晶向けの販売数量が増加したものの、販売価格が低下し、前期に比べ減収となった。
- ・六フッ化タングステンおよびヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、市況の悪化に伴い、前期に比べ減収となった。
- ・電池材料の六フッ化リン酸リチウムおよびフルオロエチレンカーボネートは、販売数量の増加により、前期に比べ増収となった。
- ・営業利益は、売上高の減少により、前期に比べ減益となった。

関東電化工業株式会社

9

## 化学設備関連事業・その他事業部門

(単位:億円)

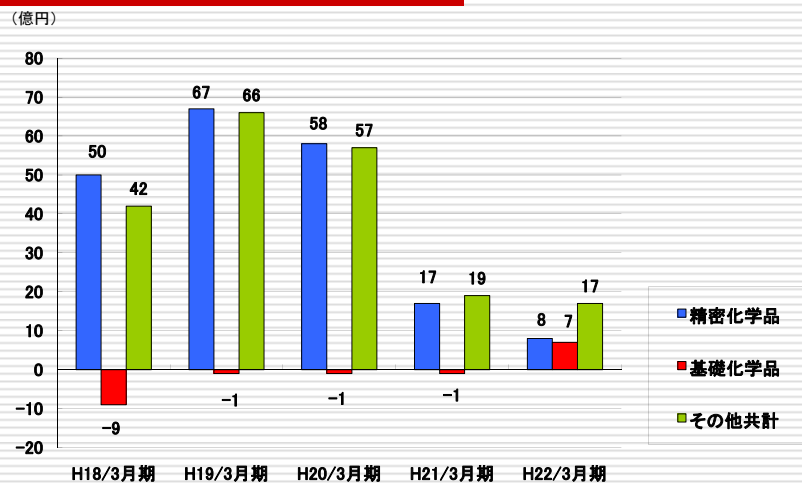
|      | H21/3 | H22/3 | 差額   |
|------|-------|-------|------|
| 売上高  | 32    | 23    | △8   |
| 営業利益 | 3.8   | △0.7  | △4.6 |

- ・連結子会社である上備製作所における請負工事が減少し、当期は減収減益となった。
- ・前期は、当社以外に対するスポット的な大型工事があったため、当期は減収減益となった。

関東電化工業株式会社

10

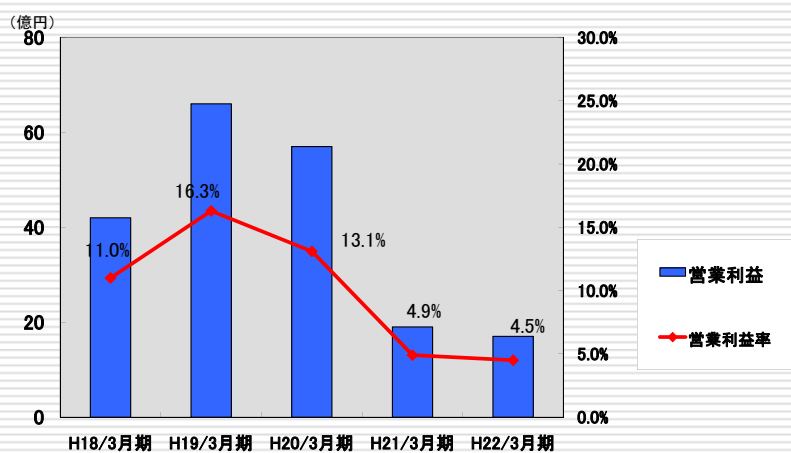
## セグメント別営業利益の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

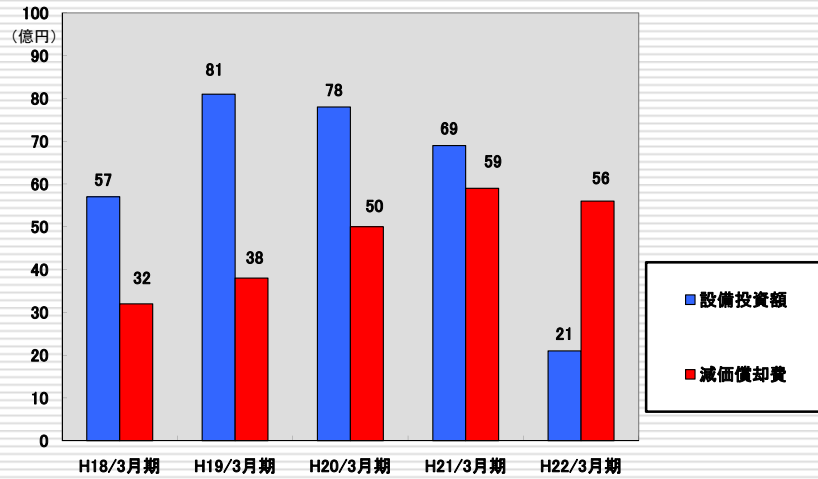
## 営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

12

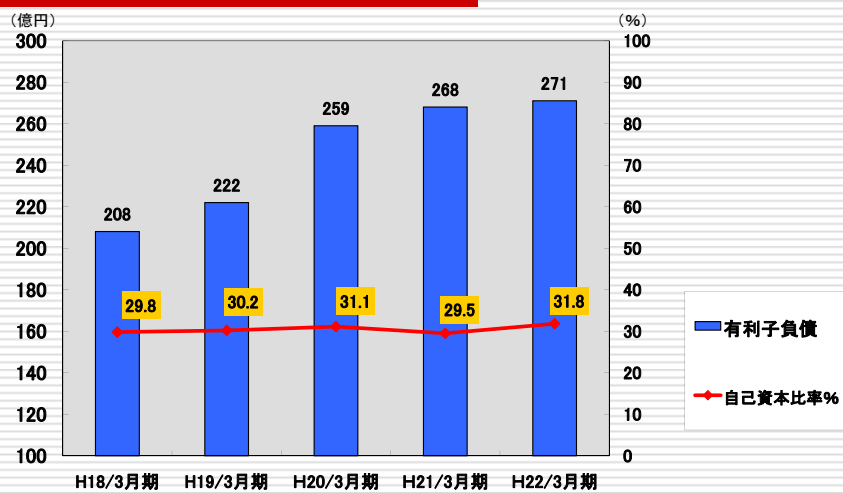
## 設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

13

## 有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

14

## 説明内容

1. H22/3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・中期経営計画

## 事業セグメントの変更

| H22年/3月期まで |        |   | H23年/3月期より |          |
|------------|--------|---|------------|----------|
| 基礎化学品事業    | 無機製品   | ⇒ | 基礎化学品事業    | 無機製品     |
|            | 有機製品   |   |            | 有機製品     |
| 精密化学品事業    | 鉄系製品   |   | 精密化学品事業    | フッ素系製品   |
|            | フッ素系製品 |   | 商事事業       | 関電興産(株)  |
| 化学設備関連事業   |        |   | 設備事業       | (株)上備製作所 |
| その他事業      |        |   | その他事業      | 鉄系製品     |

## セグメント別業績予想(連結)

(単位:億円)

|       | 売上高           |       |            | 営業利益  |       |            |
|-------|---------------|-------|------------|---|-------|------------|
|       | H22/3<br>(参考) | H23/3 | 差額<br>(参考) | H22/3<br>(参考)   | H23/3 | 差額<br>(参考) |
| 基礎    | 85            | 75    | △10        | 5   | 9     | 4          |
| 精密    | 229           | 270   | 41         | 7   | 24    | 17         |
| その他※  | 65            | 70    | 5          | 4   | 4     | 0          |
| 合計    | 380           | 415   | 35         | 17  | 37    | 20         |
| 設備投資  | 21            | 37    | 16         | ※H22/3実績値は新セグメントにて分類(参考値)<br>※その他には、商事事業、設備事業、その他事業および連結調整を含みます。<br>※為替レート見込:88円/\$ |       |            |
| 減価償却  | 56            | 55    | △1         |   |       |            |
| 研究開発費 | 10            | 11    | 1          |   |       |            |

関東電化工業株式会社

17

## —中期経営計画— 数値目標(連結)

(単位:億円)

|           | H23/3 | H24/3 | H25/3 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 売上高       | 415   | 460   | 500   |
| (うち精密化学品) | (270) | (315) | (355) |
| 営業利益      | 37    | 47    | 65    |
| (うち精密化学品) | (24)  | (33)  | (50)  |
| 経常利益      | 35    | 47    | 65    |
| 減価償却費     | 55    | 57    | 53    |
| 設備投資額     | 37    | 56    | 43    |

関東電化工業株式会社

18

## －中期経営計画－ 基本コンセプト

- この3年間で、社会の変化に機敏に対応し、成長・発展し続ける会社を創り上げていくことを基本に、「環境変化に適応できる創造的開発型企业」を目指す。
- 企業目標
  - ①成長戦略
  - ②新規製品の早期創出
  - ③既存事業の収益力強化
  - ④企業文化の確立
  - ⑤財務体質の改善
- サブタイトルである「チェンジスタート2010」は、各人が改善意識を持って様々な「チェンジ」を行い、企業目標の実現を一致団結して行うという意味を込めたもの。

## －中計企業目標－ 成長戦略

- **電池材料事業の拡大**

経営資源の積極的な投入による製造能力の増強や、競争力強化のための生産革新を図り、世界シェアトップの座の維持を図る。
- **グローバル展開の推進**

営業展開、研究開発力の活用及び原材料の調達等を目的に、海外拠点の充実を図る。
- **環境対応型ガスの拡販**

温暖化対応ガスの積極的な市場展開、太陽電池向け特殊ガス製品の開発及び拡販を図る。

## —中計企業目標— 新規製品の早期創出

### □ 研究開発体制の再編（実施済み）

- ・研究資源の一元的管理と研究情報の集約化のため研究全体を俯瞰する研究統括部を設置。
- ・4つの研究所を、基礎研究所と開発研究所の2つに再編。

### □ 戦略的な研究テーマの選択と集中

- ・当社の強みを生かしたフッ素・塩素等のハロゲン化合物、微細化技術で、電池材料分野、半導体・太陽エネルギー分野、有機ファイン分野、無機ファイン分野において、新規製品の研究・開発を推進する。

### □ 開発・上市のスピードアップ

## —中計企業目標— 既存事業の収益力強化

### □ 精密化学品（フッ素系ガス）事業

- ・生産革新を含めた徹底的なコストダウン
- ・拡大する需要に対し、積極的な供給体制の構築

### □ 基礎化学品事業

- ・水島コンビナート地区再編による需要変化に対応
- ・塩素・水素を有効に活用した高収益戦略を実施
- ・徹底的なコストダウンを継続

### □ 鉄系事業

- ・製造・販売・研究が一体となった事業運営
- ・顧客ニーズへの迅速な対応

## —中計企業目標— 企業文化の確立

### □ 安全体質づくり

・安全・安定操業が企業文化の基盤であると再認識し ISO・労働安全衛生マネジメントを基本としたPDCAサイクルによるスパイラルアップを図る。

### □ 環境対応

・製品の増加に伴う廃棄物の処理対応について、廃棄物抑制、再利用、再資源化(3R)を意識した取り組みを進める。

### □ 人と組織の活性化

・向上心を持った人材の育成、競争力のある組織を目指す。

### □ 全社的業務改善活動(K-SF<sup>3</sup>活動)

・活動内容のレベルアップを図り、コストダウン体制(体質)の強化安全、環境などの諸施策を推進する。

## 設備投資の状況・今後の計画

### □ 半導体・液晶用特殊ガス

- ① フッ酸電解能力増強 (H22.10)
- ② 三フッ化窒素能力増強 (H23年度: 2,700t→3,000t/年)

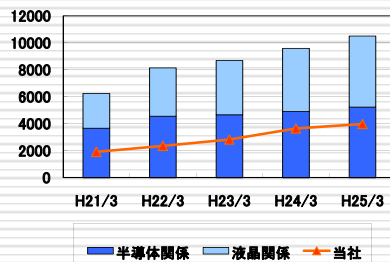
### □ 電池材料

- ① 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H22.5: 950t→1,300t/年)
- ② 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H23.5: 1,300t→2,000t/年)
- ③ FEC設備増強 (H22.5: 100t→250t /年)

## —主な製品の見通し— 三フッ化窒素(NF3)

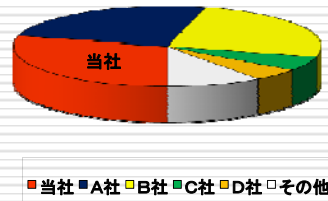
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 今後の半導体・液晶の生産量増加に伴い、三フッ化窒素の需要は増加する。また、太陽電池向けの需要も期待される。
- 需要増加に対応するため、製造能力を H23年度に3,000t/年にアップ。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

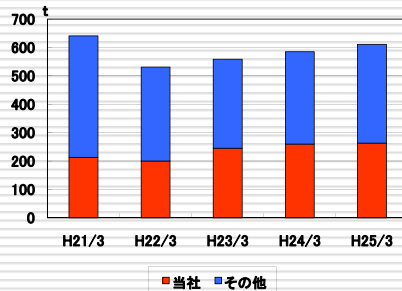
当社シェアは約30%



## —主な製品の見通し— 六フッ化タングステン(WF6)

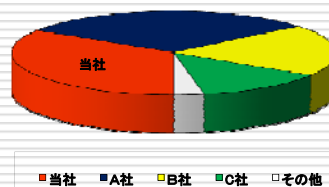
- 半導体用配線材料ガス。
- 今後の半導体の生産量回復に伴い、需要は増加する。
- H20年3月に製造能力を300t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

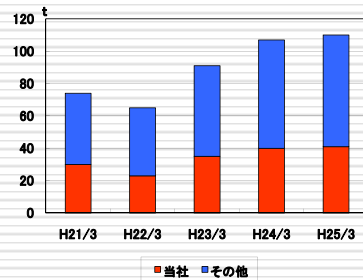
当社シェアは約3分の1



## —主な製品の見通し—ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C4F6)

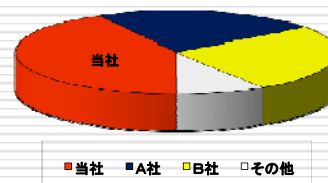
- 半導体酸化膜微細エッチング用ガス。
- 特徴：高アスペクト比エッチングが可能。短い大気寿命により温暖化に対応。
- 微細加工の伸展に伴い、需要が拡大している。
- 需要に対応するため、H19年11月に製造能力を50t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約40%



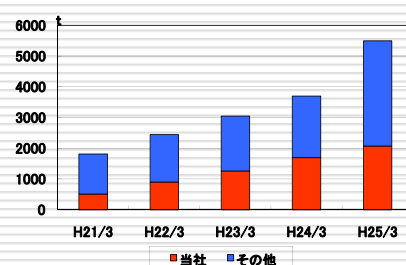
関東電化工業株式会社

27

## —主な製品の見通し—六フッ化リン酸リチウム(LiPF6)

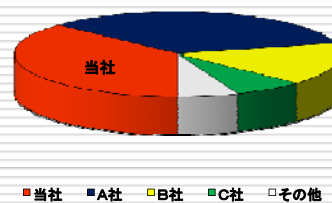
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- 携帯電話・ノートPC向け以外の用途先にも需要が拡大している。
- 今後、EV・PHEV・HEV車載用LiB向けの需要が期待される。
- H22年5月に製造能力を1,300t/年に増強した。
- さらに、H23年5月に製造能力を2,000t/年に増強予定。

【販売数量(H23/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約40%



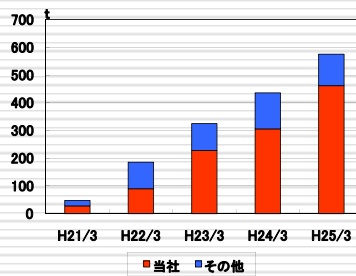
関東電化工業株式会社

28

## —主な製品の見通し— FEC(フルオロエチレンカーボネート)

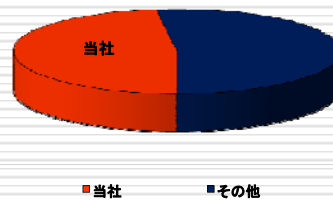
- リチウムイオン二次電池の電解液の添加剤。
- 性能:リチウムイオン二次電池の長寿命化・低温特性の向上。
- H22年5月に製造能力を250t/年に増強した。

【販売数量(H23/3以降は予想)】

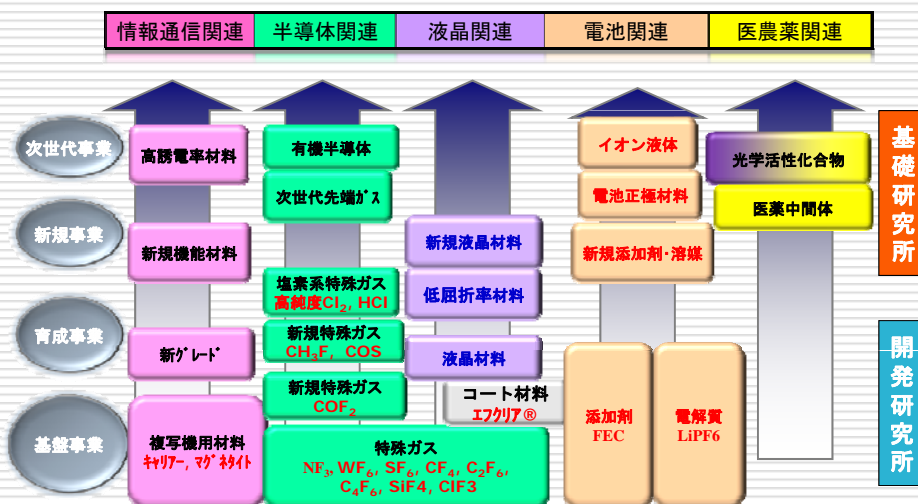


【現在のシェア予想】

当社シェアは約50%



## 当社の目指す事業方向



## 新規製品開発

- H22年4月より上市
  - ・「フッ化カルボニル(COF<sub>2</sub>)」環境対応のクリーニングガス(温暖化係数がほぼ1)
  - ・「モノフルオロメタン(CH<sub>3</sub>F)」半導体微細加工用エッチングガス
  - ・「硫化カルボニル(COS)」アモルファスカーボンマスク層微細加工用エッチングガス
- 半導体用高純度塩素、塩化水素
- 電池材料(電解質、添加剤、イオン液体)
- 有機半導体材料、新規液晶材料、医農薬中間体
- 10年後を見据えたコア技術の開発。

環境変化に適応できる創造的開発型企业へ

31

## 注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。